



きれいな水を守ろう！

親子の水辺の教室

掛測川中の瀬（8月8日）

8月8日、長門環境保健所の共催による、「親子の水辺の教室」が掛測川の中の瀬橋上流で開催され、町内から小学生の親子25名が参加しました。この教室は、身近な水辺に親しみ、河川に生息している水生昆虫などの生物を観察することによって、水への理解を深め、水辺を守るという意識を高めてもらおうと毎年行われています。

◆調査方法

○水辺に入る

水生生物や採取方法などの説明を受け、3班に別れて水深30cmの水辺に入りました。水がとても冷たく、水遊び気分でも楽しそうでした。

○生物を探す

班ごとに採取場所へ移動し、石をはぐつたり、ザルで川底をすくつたりして、いろいろな生物を上手に見つけていきました。

○分別する

バットに採取した生物を分類に分けて、シャールレに入

れていきました。生物が小さいうえに、よく動くのでこの作業はとても大変そうでした。特にカゲロウ類はどれも似たような形をしているので、子供たちの目は真剣です。

○集計する

分別した生物を、表の中に記入していきます。採取した

◆調査結果

水質階級	指標生物	1班	2班	3班
I きれいな水	1. ウズムシ類		○	○
	2. サワガニ			
	3. ブユ類			
	4. カワゲラ類			○
	5. ナガレトビケラ・ヤマトビケラ類	○	○	○
	6. ヒラタカゲロウ類	●	○	○
	7. ヘビトンボ類	○	○	○
I・II	8. 5以外のトビケラ類	○	○	○
	9. 6, 11以外のカゲロウ類	○	●	●
II 少しよごれた水	10. ヒラタドロムシ類	○	○	○
III きたない水	11. サホコカゲロウ			
	12. ヒル類	○		○
	13. ミズムシ			
III・IV	14. サカマキガイ			
	15. セスジュスリカ			
IV 大変きたない水	16. イトミミズ類			

生物の欄に○印、最も多かった生物の欄に●印をつけて、その数を集計しました。

◆まとめ

今回の調査の結果、掛測川の上流は「きれいな水」に棲む生物が多く、きれいな水が流れていることがわかりました。しかしながら少しよごれた水に棲む生物も見られました。

これを機会に、一人一人が河川をよごさないよう、身近なことから心がけるようにしましょう。

汚れた川の中

